

《ID:サンプルです。こちらの様式での提出はできません。/貴院名:サンプルです。こちらの様式での提出はできません。》

## 令和2年度病床機能報告 報告様式1【有床診療所】

◎貴院名	サンプルです。こちらの様式での提出はできません。			
◎ID（報告マニュアル送付状に記載の8桁コード）	サンプルです。こちらの様式での提出はできません。			
◎医療機関住所	〒	-		
サンプルです。こちらの様式での提出はできません。				
◎報告担当者	氏名（漢字）	サンプルです。こちらの様式での提出はできません。		
	氏名（ひらがな）			
	部署名	サンプルです。こちらの様式での提出はできません。		
	連絡先	電話番号	市外番 局番	-
		FAX番号	市外番 局番	-
e-mail		@		

◎貴院における【令和2年6月の診療】に当たって、一般病床・療養病床に入院した患者の有無、一般病床・医療療養病床（介護療養病床を除く）に入院した患者の有無について、ご記入ください。また、一般病床・医療療養病床（介護療養病床を除く）に入院した患者の【令和2年6月の診療】分について【令和2年7月審査の請求】の有無、請求時のレセプト種別をご記入ください。  
※こちらの項目への入力は任意です。

① 令和2年6月に一般病床または療養病床に入院した患者の有無	1. 有り 2. 無し	(1)	<input style="width: 100%;" type="text"/>
② ①のうち、一般病床または医療療養病床（介護療養病床を除く）に入院した患者の有無	1. 有り 2. 無し	(2)	<input style="width: 100%;" type="text"/>
③ ②の入院患者の6月診療分について7月審査の診療報酬請求の有無	1. 有り 2. 無し	(3)	<input style="width: 100%;" type="text"/>
④ ③の診療報酬請求時のレセプト種別	1. 全てまたは一部を電子レセプトにより請求 2. 全て紙レセプトにより請求または診療報酬の請求無し	(4)	<input style="width: 100%;" type="text"/>

《ID:サンプルです。こちらの様式での提出はできません。/貴院名:サンプルです。こちらの様式での提出はできません。》

- 有床診療所票では、病床数、人員配置、入院患者数等の一定の項目に限って必須の報告項目となり、それ以外の項目については任意の報告となります。なお、必須の報告項目は、記入欄を太枠で囲っています。
- 任意の報告項目についてご報告いただく場合には、当該項目のすべての設問にご記入ください。

1. 設置主体【令和2年7月1日時点】

1. 厚生労働省	2. 独立行政法人国立病院機構	3. 国立大学法人	4. 独立行政法人労働者健康安全機構
5. 国立高度専門医療研究センター	6. 独立行政法人地域医療機能推進機構	7. その他(国)	
8. 都道府県	9. 市町村	10. 地方独立行政法人	11. 日赤
12. 済生会	13. 北海道社会事業協会		
14. 厚生連	15. 国民健康保険団体連合会	16. 健康保険組合及びその連合会	
17. 共済組合及びその連合会	18. 国民健康保険組合	19. 公益法人	20. 医療法人
21. 私立学校法人	22. 社会福祉法人	23. 医療生協	24. 会社
25. その他の法人			該当番号⇒(5) <input type="text"/>

2. 貴院の【令和2年7月1日時点】における地方厚生(支)局長への入院基本料の届出の有無、【令和元年7月1日～令和2年6月30日】の過去1年間における稼働病床の有無について、ご記入ください。

① 令和2年7月1日時点での地方厚生(支)局長への入院基本料の届出の有無	1. 有り 2. 無し 該当番号⇒(6)	<input type="text"/>
② 過去1年間(令和元年7月1日～令和2年6月30日)の稼働病床の有無	1. 有り 2. 無し 該当番号⇒(7)	<input type="text"/>

◎上記の2.-①、2.-②の回答がいずれも「2. 無し」に該当する場合は、以下の必須項目のご記入は不要となります。  
 ・「7.職員数」のうち、「②入院部門」の項目  
 ・「9.入院患者数の状況」の項目

3. 医療機能【医療機能の選択にあたっての考え方については、「令和2年度病床機能報告マニュアル①」を参照してください。

① 2019(令和2)年7月1日時点の機能


1. 高度急性期機能	2. 急性期機能	3. 回復期機能	4. 慢性期機能	(8) <input type="text"/>
5. 休棟中(今後再開する予定)		6. 休棟中(今後廃止する予定)		

② 2025年7月1日時点の機能

1. 高度急性期機能	2. 急性期機能	3. 回復期機能	4. 慢性期機能	(9) <input type="text"/>
5. 休棟予定	6. 廃止予定	7. 介護保険施設等へ移行予定		

③上記②で「7. 介護保険施設等へ移行予定」を選択した場合、2025年7月1日時点の移行予定先について選択してください。

1. 介護医療院	2. 介護老人保健施設	3. 介護老人福祉施設	4. 1～3以外の介護サービス	(10) <input type="text"/>
----------	-------------	-------------	-----------------	---------------------------

 上記項目3において「2025年7月1日時点の機能の実現」に向けて、それ以前に変更予定がある場合は、下のチェックボックスにチェックを入れて、変更後の機能、その変更予定年月を入力してください。

2025年7月1日迄に変更予定あり <input type="checkbox"/>	⇒	変更後の機能⇒(11) <input type="text"/>	変更予定年月	西暦	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>
--	---	----------------------------------	--------	----	----------------------	---	----------------------	---	----------------------

4. 有床診療所の病床の役割

1. 病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能	2. 専門医療を担って病院の役割を補完する機能
3. 緊急時に対応する機能	4. 在宅医療の拠点としての機能
5. 終末期医療を担う機能	6. いずれの機能にも該当しない
7. 休棟中	

該当番号を5つまで⇒(12)

《ID: サンプルです。こちらの様式での提出はできません。/ 貴院名: サンプルです。こちらの様式での提出はできません。》

5. 許可病床数【令和2年7月1日時点】・稼働病床数【令和元年7月1日～令和2年6月30日】

※有床診療所の病床数は、19床以下とされています。

① 一般病床 (13)	許可病床数	稼働病床数 《自動計算により算出》		過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床数※	2025年7月1日時点の予定病床数	
		床	床		床	床
上記①のうち、医療法上の経過措置に該当する病床（平成13年3月1日時点で既に開設許可を受けている一般病床であって、6.3㎡/床（1人部屋）・4.3㎡/床（その他）となっている病床数） (14)						
② 療養病床 (15)						
上記②のうち、医療療養病床 (16)						
上記②のうち、介護療養病床《自動計算により算出》 (17)						

※ 過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床数は、許可病床数から、過去1年間に最も多く患者を収容した時点で使用した病床数を差し引いて算出してください。

※「稼働病床数」と「過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床数」の合計が、「許可病床数」となるように入力してください。

上記において、「稼働病床数」の合計が0床である場合には、その理由をご記入ください。【自由記入欄】（条件付必須）

6. 一般病床・療養病床で算定する入院基本料別の届出病床数【令和2年7月1日時点】

① 有床診療所入院基本料 (18)		床
② 有床診療所療養病床入院基本料 (19)		床
③ 介護療養病床における診療所型介護療養施設サービス費等 (20)		床
診療報酬上及び介護報酬上の入院料の届出なし 《許可病床数(13)(15)の合計から届出病床数(18)(19)(20)の合計を差し引いた値を自動計算により算出》 (21)		床

7. 職員数【令和2年7月1日時点】

※各部門の職員とは、専ら当該部門で業務を行っている（勤務時間の概ね8割以上を当該部門で勤務する）職員をいいます。複数の部門で業務を行い、当該部門での勤務が通常の勤務時間の8割未満となる場合には、「外来部門の職員数」に計上してください。

※「①施設全体の職員数」と「②入院部門の職員数」、「③手術室の職員数」、「④外来部門の職員数」、「⑤その他の部門の職員数」の合計数が一致するように計上し、各部門間において職員数の重複がないようご記入ください。

※2つの部門を兼務している職員については、専ら当該部署で業務を行っている（勤務時間の概ね8割以上を当該部門で勤務する）職員数を計上し、それ以外は外来部門に計上してください。《一部自動計算により算出》

① 施設全体の職員数

	常勤 従事者の実人数		非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)			常勤 従事者の実人数		非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)	
		人		人			人		人
(22) 医師		人		人	(23) 歯科医師		人		人
(24) 看護師		人		人	(25) 准看護師		人		人
(26) 看護補助者		人		人	(27) 助産師		人		人
(28) 理学療法士		人		人	(29) 作業療法士		人		人
(30) 言語聴覚士		人		人	(31) 薬剤師		人		人
(32) 診療放射線技師		人		人	(33) 臨床検査技師		人		人
(34) 臨床工学技士		人		人	(35) 管理栄養士		人		人

※(22)～(35)の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

《ID:サンプルです。こちらの様式での提出はできません。／貴院名:サンプルです。こちらの様式での提出はできません。》

② 入院部門の職員数

	常勤 従事者の実人数		非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)		常勤 従事者の実人数		非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)		
		人		人		人		人	
(36) 看護師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(37) 准看護師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(38) 看護補助者	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(39) 助産師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(40) 理学療法士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(41) 作業療法士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(42) 言語聴覚士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(43) 薬剤師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(44) 臨床工学技士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(45) 管理栄養士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
令和2年7月1日時点で入院部門に入院患者がない場合、あるいは入院部門での勤務が通常の勤務時間の8割未満となる看護職員のみの場合等、看護職員が0人となる場合には、右の項目にチェックを入れてください。								(46)	<input type="checkbox"/>

※(36)~(45)の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

③ 手術室の職員数

	常勤 従事者の実人数		非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)		常勤 従事者の実人数		非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)		
		人		人		人		人	
(47) 看護師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(48) 准看護師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(49) 看護補助者	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(50) 助産師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(51) 理学療法士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(52) 作業療法士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(53) 言語聴覚士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(54) 薬剤師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(55) 臨床工学技士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(56) 管理栄養士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人

※(47)~(56)の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

④ 外来部門の職員数

※複数の部門で業務を行い、各部門での勤務が通常の勤務時間の8割未満となる場合には、外来部門の職員として取り扱うものとします。複数部門における勤務時間数により職員数を按分していただく必要はありません。また、ある部門における職員数が「0人」となっても構いません。

	常勤 従事者の実人数		非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)		常勤 従事者の実人数		非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)		
		人		人		人		人	
(57) 看護師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(58) 准看護師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(59) 看護補助者	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(60) 助産師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(61) 理学療法士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(62) 作業療法士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(63) 言語聴覚士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(64) 薬剤師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(65) 臨床工学技士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(66) 管理栄養士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人

※(57)~(66)の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

《ID: サンプルです。こちらの様式での提出はできません。／貴院名: サンプルです。こちらの様式での提出はできません。》

⑤ その他の部門の職員数（透析室、外来化学療法室、放射線照射外来室、退院調整部門、訪問看護部門、医事部門等）  
 ※透析室、外来化学療法室、放射線照射外来室、退院調整部門、薬剤部門、リハビリ部門、訪問看護部門、医事部門、管理部門、健診（人間ドック）部門等

	常勤 従事者の実人数		非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)			常勤 従事者の実人数		非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)	
(67) 看護師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(68) 准看護師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(69) 看護補助者	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(70) 助産師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(71) 理学療法士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(72) 作業療法士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(73) 言語聴覚士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(74) 薬剤師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人
(75) 臨床工学技士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(76) 管理栄養士	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人

※(67)~(76)の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

8. 主とする診療科【令和2年7月1日時点】  
 ※診療科が貴院の診療科名と一致しない場合には、最も近い診療科をご選択ください。  
 ※該当する診療科がない場合は、読み替えが可能な最も近い診療科をご選択ください。なお、読み替えが困難な場合は、内科または外科をご選択ください。

1. 内科	2. 呼吸器内科	3. 循環器内科	4. 消化器内科（胃腸内科）
5. 腎臓内科	6. 神経内科	7. 糖尿病内科（代謝内科）	8. 血液内科
9. 皮膚科	10. アレルギー科	11. リウマチ科	12. 感染症内科
13. 小児科	14. 精神科	15. 心療内科	16. 外科
17. 呼吸器外科	18. 心臓血管外科	19. 乳腺外科	20. 気管食道外科
21. 消化器外科（胃腸外科）	22. 泌尿器科	23. 肛門外科	24. 脳神経外科
25. 整形外科	26. 形成外科	27. 美容外科	28. 眼科
29. 耳鼻咽喉科	30. 小児外科	31. 産婦人科	32. 産科
33. 婦人科	34. リハビリテーション科	35. 放射線科	36. 麻酔科
37. 病理診断科	38. 臨床検査科	39. 救急科	40. 歯科
41. 矯正歯科	42. 小児歯科	43. 歯科口腔外科	44. 複数の診療科で活用

(77) 該当番号 ⇒  「44」を選択した場合、当該病棟の患者を多く診ている順に上位3つまで ⇒ 

上位1位	上位2位	上位3位
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

9. 入院患者数の状況【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】  
 ※一般病床・療養病床に入院するショートステイ利用者、正常な妊産婦、院内で出生した正常な新生児、生母の入院に伴って入院した健康な新生児又は乳児、公費負担医療、労災保険制度や労働福祉事業としての医療、自賠責、治験、人間ドック、母体保護法、その他の自由診療等での入院者、介護療養病床への入院患者についても、新規入院患者数・在院患者延べ数・退院患者数に数えてください。  
 ※1入院1単位と考え、入院期間が通算される再入院患者等についても新規入院患者・退院患者として数えてください。

① 新規入院患者数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】	(78)	<input type="text"/>	人
上記①のうち、急変による入院患者	(79)	<input type="text"/>	人
上記①のうち、他の急性期医療を担う病院の一般病棟からの受入割合（小数点第2位を四捨五入）	(80)	<input type="text"/>	%
② 在院患者延べ数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】	(81)	<input type="text"/>	人
③ 退院患者数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】	(82)	<input type="text"/>	人

※(78)~(82)の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

《ID:サンプルです。こちらの様式での提出はできません。/貴院名:サンプルです。こちらの様式での提出はできません。》

10. 入院前の場所・退院先の場所別の入院患者の状況			
※「新規入院患者数」及び「退院患者数」の考え方は、上記の「9. 入院患者数の状況」と同様になります。			
入院前の場所	① 新規入院患者数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】 《自動計算により算出 ※(84)～(89)の合計》	(83)	人
	上記①のうち、家庭からの入院	(84)	人
	上記①のうち、他の病院、診療所からの転院	(85)	人
	上記①のうち、介護施設・福祉施設からの入院	(86)	人
	上記①のうち、介護医療院からの入院	(87)	人
	上記①のうち、院内の出生	(88)	人
	上記①のうち、その他	(89)	人
退院先の場所	② 退院患者数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】 《自動計算により算出 ※(91)～(98)の合計》	(90)	人
	上記②のうち、家庭へ退院	(91)	人
	上記②のうち、他の病院、診療所へ転院	(92)	人
	上記②のうち、介護老人保健施設に入所	(93)	人
	上記②のうち、介護老人福祉施設に入所	(94)	人
	上記②のうち、介護医療院に入所	(95)	人
	上記②のうち、社会福祉施設・有料老人ホーム等に入所	(96)	人
	上記②のうち、終了（死亡退院等）	(97)	人
上記②のうち、その他	(98)	人	

※(83)～(98)の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

11. 退院後に在宅医療を必要とする患者の状況			
上記の項目10.－②「退院患者数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】」のうち、 ※本項目の内訳の患者数の合計と上記の「10.－②退院患者数」が一致すること			
退院後1か月以内に在宅医療を必要としない患者（死亡退院を含む）	(99)	人	
退院後1か月以内に自院が在宅医療を提供する予定の患者	(100)	人	
退院後1か月以内に他施設が在宅医療を提供する予定の患者	(101)	人	
退院後1か月以内の在宅医療の実施予定が不明の患者	(102)	人	

※(99)～(102)の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

12. 在宅療養支援診療所の届出の有無【令和2年7月1日時点】			
① 在宅療養支援診療所の届出の有無	1. 有り 2. 無し	該当番号 ⇒(103)	

13. 往診、訪問診療を行った患者延べ数			
① 往診を実施した患者延べ数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】	(104)	人	
② 訪問診療を実施した患者延べ数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】	(105)	人	

※(104)～(105)の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

※ID: サンプルです。こちらの様式での提出はできません。／貴院名: サンプルです。こちらの様式での提出はできません。※

14. 看取りを行った患者数		
① 医療機関以外での看取り数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】		
直近1年間に在宅療養を担当した患者について		
(1) 医療機関以外での死亡者数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】 《自動計算により算出》	(106)	人
上記(1)のうち、自宅での死亡者数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】	(107)	人
上記(1)のうち、自宅以外での死亡者数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】	(108)	人
② 医療機関での看取り数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】		
直近1年間に在宅療養を担当した患者について		
(2) 医療機関での死亡者数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】 《自動計算により算出》	(109)	人
上記(2)のうち、連携医療機関での死亡者数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】	(110)	人
上記(2)のうち、連携医療機関以外での死亡者数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】	(111)	人

※ 自院で死亡した患者については、「医療機関での死亡者数」の「上記(2)のうち、連携医療機関での死亡者数」欄へ計上してください。  
 ※ 介護老人保健施設等の入所施設で死亡した患者については、「医療機関以外での死亡者数」の「上記(1)のうち、自宅以外での死亡者数」欄へ計上してください。  
 ※(106)～(111)の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

15. 分娩件数（正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く）【令和2年6月の1か月間】	(112)	件
---	-------	---

※(112)の記入欄が無記入のものはゼロとみなします。

16. 救急医療の実施状況		
※休日とは、日曜日及び国民の祝日に関する法律第3条に規定する休日、1月2日及び3日並びに12月29日、30日及び31日を指します。また、夜間・時間外とは、貴院が表示する診療時間以外の時間（休日を除く）を指します。 ※休日の夜間に受診した患者については、休日に受診した患者延べ数にのみ計上してください。		
① 休日に受診した患者延べ数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】	(113)	人
上記①のうち、診察後直ちに入院となった患者延べ数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】	(114)	人
② 夜間・時間外に受診した患者延べ数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】	(115)	人
上記②のうち、診察後直ちに入院となった患者延べ数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】	(116)	人
③ 救急車の受入件数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】	(117)	件

※(113)～(117)の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

17. リハビリテーションの状況		
① リハビリテーションを実施した患者の割合【令和2年6月の1か月間】（小数点第2位を四捨五入）	(118)	%
② 平均リハ単位数（1患者1日当たり）【令和2年6月の1か月間の平均】（小数点第2位を四捨五入）	(119)	単位
③ 過去1年間の総退院患者数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】	(120)	※上記の項目9-③「退院患者数」の患者数
④ 上記③のうち、入院時の日常生活機能評価が10点以上又は機能的自立度評価法（FIM）得点で55点以下であった患者数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】	(121)	人
⑤ 上記④のうち、機能的自立度評価法（FIM）得点で55点以下の患者数	(121-1)	人
⑥ 上記④のうち、入院時に比較して退院時（転院時を含む）の日常生活機能評価が3点以上（回復期リハビリテーション病棟入院料1又は2の場合には4点以上）又はFIM総得点で12点以上（回復期リハビリテーション病棟入院料1又は2の場合には16点以上）改善していた患者数【令和元年7月1日～令和2年6月30日の1年間】	(122)	人
⑦ 上記⑥のうち、FIM総得点で12点以上（回復期リハビリテーション病棟入院料1又は2の場合には16点以上）改善していた患者数	(122-1)	人

※(118)～(124)の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

《ID:サンプルです。こちらの様式での提出はできません。/貴院名:サンプルです。こちらの様式での提出はできません。》

18. 医療機器の台数【令和2年7月1日時点】					
① CT	マルチスライスCT	64列以上	(123)	<input type="text"/>	台
		16列以上64列未満	(124)	<input type="text"/>	台
		16列未満	(125)	<input type="text"/>	台
	その他のCT（上記の多列検出器CT以外のCT）		(126)	<input type="text"/>	台
② MRI	3テスラ以上		(127)	<input type="text"/>	台
	1.5テスラ以上3テスラ未満		(128)	<input type="text"/>	台
	1.5テスラ未満		(129)	<input type="text"/>	台
③ その他の医療機器	血管連続撮影装置 <small>（デジタル・サブトラクション・アンギオグラフィー法を行う装置）</small>		(130)	<input type="text"/>	台
	SPECT		(131)	<input type="text"/>	台
	PET		(132)	<input type="text"/>	台
	PETCT		(133)	<input type="text"/>	台
	PETMRI		(134)	<input type="text"/>	台
	ガンマナイフ		(135)	<input type="text"/>	台
	サイバーナイフ		(136)	<input type="text"/>	台
	強度変調放射線治療器		(137)	<input type="text"/>	台
	遠隔操作式密封小線源治療装置		(138)	<input type="text"/>	台
	内視鏡手術用支援機器（ダヴィンチ）		(139)	<input type="text"/>	台

※(123)~(139)の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

19. 退院調整部門の設置状況【令和2年7月1日時点】							
① 退院調整部門の有無		1. 有り 2. 無し		該当番号 ⇒(140)	<input type="text"/>		
② 退院調整部門に勤務する職員数							
	専従 従事者の実人数	専任 従事者の常勤換算 <small>（小数点第2位四捨五入）</small>		専従 従事者の実人数	専任 従事者の常勤換算 <small>（小数点第2位四捨五入）</small>		
(141) 医師	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(142) 看護職員	<input type="text"/>	人
(143) MSW	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(144) 【再掲】MSWのうち、社会福祉士の資格を有する者	<input type="text"/>	人
(145) 事務員	<input type="text"/>	人	<input type="text"/>	人	(146) その他	<input type="text"/>	人

※(141)~(146)の記入欄のうち、無記入のものはゼロとみなします。

**!** 本有床診療所票の報告内容について、貴院で令和元年7月1日~令和2年6月30日の期間内に入院部門の再編・見直しを行ったことで、過去1年間分の状況を令和2年7月1日時点の入院部門の単位で報告することが困難な場合は、下の項目にチェックを入れて、令和2年7月1日時点の入院部門の単位で「月単位」で報告が可能な過去の期間をご記入ください。本有床診療所票で過去1年間の状況を報告する項目では、ご記入いただいた対象期間における状況についてご記入ください。

《報告可能な対象期間》

過去1年間の間に入院部門の再編・見直しあり  ⇒ 西暦  年  月 1日 ~ 西暦  年  月 末日

その他、ご報告にあたっての特記事項【自由記入欄】